

第99回二科展 巡回展（福岡展）



▲福岡市美術館会場入口

■ 2015年2月17日（火）～2月22日（日）福岡市美術館（全室）にて福岡巡回展を開催しました。4部門（絵画・彫刻・デザイン・写真）全国巡回作品と地元入選作品合わせて約620点を展示し、4,716の方に御入場いただきました。二科福岡支部、二科山口支部、二科大分支部、二科佐賀支部、二科長崎支部の協力のもと、無事終了することができました。

2月16日の前夜祭は絵画部 吉井英二常務理事、写真部 川本貢功特別会員をお迎えし、美術評論家・田川市美術館長 松尾孝司氏、福岡市美術館長 錦織亮介氏をはじめ、共同主催である西日本新聞社の方々に御出席いただき、親睦と交流を深めました。また、当巡回展のみの西日本新聞社賞を選考し、絵画部は平塚公子（宗像市）、鶴由海子（大牟田市）、太田真由里（長崎県）の3氏、デザイン部は小野多世子氏（大野城市）、写真部は武田新一氏（福岡市）が表彰されました。

2月17日のギャラリートークは、絵画部は、地元会員の進行で出品者が自作の前で自評を行いました。またデザイン部は、地元会員が行い、写真部は特別会員川本貢功氏によるトークが行われました。

2月22日最終日のギャラリートークは、絵画部は、地元会員の進行で出品者が自作の前で自評を行いました。デザイン部は地元会員、写真部は、特別会員中山陽氏によるトークが行われました。



▲ギャラリートーク会場

西日本新聞社による取材・新聞掲載等も、各県の紙面での社告・作品紹介・広告等、多くの作品画像を掲載していただきました。また、第100回記念二科展に向けて、福岡巡回展の歴史に触れる内容の記事を掲載していただきました。テレビ西日本では、各部門の会場風景や作品の紹介等をしていただき、多大なご協力をいただきました。

前夜祭・授賞式



▲ 主催者挨拶



▲ 吉井英二常務理事ご挨拶



▲ 田川市美術館長ご祝辞



▲ 川本貢功特別会員ご挨拶



▲ 西日本新聞社賞授与

受賞者紹介▶



▲ 受賞者空手パフォーマンス



▲ 前夜祭会場



■ 4部門会場展示に関するコラム記事

《絵画部》

広い特別展示室 A・B を使って、巡回作品、地元作品を全作品展示しました。2点入選や受賞作など注目されている作品を中心に、見やすく解りやすい展示を心掛けました。鑑賞者の進路にあわせたスッキリとした構成を心掛けました。今回は、鑑賞者の方のご意見を反映して途中で休憩できる椅子を設置するなど新しい取り組みも行いました。

《彫刻部》

他部門は、会場を年ごとにローテーションしていますが、彫刻は例年広い大きな特別展示室の進路のちょうど中間辺りにまとめて展示しています。数の多い絵画作品の間にアクセントをつける見やすい構成となっています。

《デザイン部》

市民ギャラリー A 室は、特別課題（ユネセフの活動）作品を主体に展示し、メインの外務大臣賞ほか受賞作を並べゆったりとした間をつくりました。入口正面には一般出品者の受賞者を効果的に展示。全作品収容できました。D 室は、二科のデザイン独自の多種多様な表現技術が発揮されるように配置しました。特に中央の衝立壁面はイラストレーション、マルチグラフィック作品を集結、若い人の目を引いたと思います。巡回作品全点数展示。

《写真部》

会員・会友作品 439 点、一般公募作品 970 点、合計 1,409 点の中から地元作品を中心に 230 点を厳選し展示しました。特徴としては、ジャンルに偏らず来場の皆様に判りやすい内容に心掛けました。